

平成 26 年度補正及び平成 27 年度の宇宙関係予算案について(速報値)

全府省総額

平成 26 年度 補正予算案 460 億円

平成 27 年度 予算案 2,786 億円

(対前年度当初予算比 46 億円増 (1.7%増))

(参考)平成 26 年度 補正予算案 + 平成 27 年度 予算案 3,245 億円

(対 26 年度当初予算比 506 億円増 (18.5%増))

(内訳)

(単位：億円)

府省名	平成 26 年度 当初予算 ①	平成 26 年度 補正予算案 ②	平成 27 年度 予算案 ③	対前年度 増▲減 (増▲減比) ③-①	(参 考)	
					平成 26 年度補 正予算案 + 平成 27 年度予 算案 ④=②+③	対前年度 増▲減 (増▲減比) ④-①
内閣官房	610	83	614	+ 4 (+ 0.7%)	697	+ 87 (+14.3%)
内閣府	132	70	152	+ 20 (+15.0%)	223	+ 90 (+68.2%)
警察庁	8	-	9	+ 1 (+ 9.1%)	9	+ 1 (+ 9.1%)
総務省	26	-	24	▲ 1 (▲ 5.0%)	24	▲ 1 (▲ 5.0%)
外務省	2	-	2	▲ 0 (▲11.9%)	2	▲ 0 (▲11.9%)
文部科学省	1,529	299	1,524	▲ 5 (▲ 0.3%)	1,824	+ 295 (+19.3%)
農林水産省	2	-	1	▲ 1 (▲39.2%)	1	▲ 1 (▲39.2%)
経済産業省	22	-	29	+ 8 (+34.6%)	29	+ 8 (+34.6%)
国土交通省	95	2	94	▲ 0 (▲ 0.4%)	96	+ 1 (+ 1.2%)
環境省	39	4	40	+ 1 (+ 2.4%)	44	+ 5 (+12.7%)
防衛省	276	1	296	+ 20 (+ 7.2%)	298	+ 21 (+ 7.7%)
合計(注 1)	2,740	460	2,786	+ 46 (+ 1.7%)	3,245	+ 506 (+18.5%)
(参考値(注 2))	3,242	460	3,054	▲ 188 (▲ 5.8%)	3,514	+ 272 (+8.4%)

(係数については、四捨五入によっているので計と符合しないことがある。)

(注 1) 弾道ミサイル防衛関連経費 (防衛省)、航空関連経費 (文部科学省)を除いている。

(注 2) 弾道ミサイル防衛関連経費 (防衛省)、航空関連経費 (文部科学省)を含めた場合。

平成26年度補正予算案（宇宙関係予算）【各府省の施策】

全府省合計 460億円

【内閣官房】	8,309
○ 情報収集衛星関係経費	8,309

【国土交通省】	150
○ 火山周辺の地殻変動監視の強化（電子基準点の観測強化）	150

【内閣府】	7,044
○ 中央防災無線網等の整備	164
○ 実用準天頂衛星製作等経費	6,880

【環境省】	400
○ いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	400

【文部科学省】	29,932
○ 基幹ロケット(H-IIA)高度化	3,710
○ 基幹ロケット(イプシロン)高度化及び相乗り機能付加	2,320
○ 信頼性向上プログラム	1,835
○ 宇宙ステーション補給機(HTV)によるデブリ除去システム技術実証	7,499
○ 超低高度衛星技術試験(SLATS)	2,135
○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	3,337
○ 気候変動観測衛星(GCOM-C)	3,291
○ 施設整備費及び設備整備費	5,805

【防衛省】	129
○ Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	129

平成27年度予算案（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 2,786億円

【内閣官房】	61,370	(+409)	【農林水産省】	92	(▲59)
○ 情報収集衛星関係経費	61,360	(+409)	○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	20	(▲5)
【内閣府】	15,240	(+1,993)	○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用(VMSシステムの運用)	71	(±0)
○ 中央防災無線網の整備・維持管理等	203	(▲96)	【経済産業省】	2,944	(+756)
○ 宇宙利用拡大の調査研究	302	(▲41)	○ 超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNAR O2)の研究開発	500	(+500)
○ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	14,622	(+2,124)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	300	(+146)
【警察庁】	858	(+72)	○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	638	(▲0)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	858	(+72)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	875	(+206)
【総務省】	2,422	(▲129)	○ 太陽光発電無線送電高効率化の研究開発	250	(±0)
○ 準天頂衛星時刻管理系設備の運用	64	(▲13)	【国土交通省】	9,442	(▲36)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	1,962	(▲40)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	903	(▲17)
○ 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	81	(▲19)	○ 静止気象衛星業務等	8,379	(▲35)
○ 次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	290	(▲57)	○ 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	95	(新規)
【外務省】	158	(▲21)	【環境省】	3,980	(+93)
○ 衛星画像判読分析支援	144	(▲21)	○ いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	2,796	(▲179)
○ 宇宙外交推進費	14	(▲1)	○ 衛星による地球環境観測経費	1,023	(+269)
【文部科学省】	152,414	(▲479)	【防衛省】	29,645	(+2,003)
○ 先進光学衛星	5,060	(新規)	○ 衛星通信、商用画像衛星の利用等	29,260	(+2,010)
○ 光データ中継衛星	3,148	(新規)	○ 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	376	(▲7)
○ 革新的衛星技術実証プログラム	920	(新規)			
○ 新型基幹ロケット	12,545	(+5,545)			
○ 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	31	(▲539)			
○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	1,369	(+669)			
○ 気候変動観測衛星(GCOM-C)	1,971	(+553)			
○ 国際宇宙ステーション関連	33,103	(▲2,620)			
○ X線天文衛星(ASTRO-H)	11,432	(+1,897)			
○ 宇宙太陽光発電技術の研究	300	(±0)			

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。